

## 情報提供 4

### ○ 逗子市・葉山町の脱炭素政策の状況

#### ≪葉山町≫

2021年3月、「はやま気候非常事態宣言」を表明し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指しています。環境省の自治体排出量カルテ（令和元年度）によると、葉山町全体のCO<sub>2</sub>排出量は10万5千トンで、内訳は家庭部門35%、運輸部門34%、業務その他部門27%、産業部門4%となっており、家庭からのCO<sub>2</sub>排出量を削減することは非常に大切な取組みと考えられます。

町民の皆様に向けては、再生可能エネルギーシステムや電気自動車の導入を後押しする補助金のほか、「はやまエシカルアクション」による行動変容を推進する情報発信に取り組んでいます。

2022年には、町内で活動する葉山アマモ協議会が行っている藻場の再生がブルーカーボンとして認定を受けており、町としても様々な視点において脱炭素に向けた取組みを推進しています。

#### ≪令和5年度の主な事業≫

- ・ 葉山町地球温暖化対策実行計画の改定
- ・ 公共施設への太陽光発電設備設置に向けた屋上防水改修
- ・ 公共施設における再生可能エネルギー由来電力への切替
- ・ 葉山町再生可能エネルギーシステム等設置補助金
- ・ 葉山町電気自動車購入費補助金
- ・ はやまエシカルパートナー（はやまエシカルアクション）
- ・ ゼロカーボン通信
- ・ 戸別収集・資源ステーション収集、生ごみ処理容器の販売促進

#### （その他関連施策）

- ・ ブルーカーボン